

看護系大学（学部）の想定設置例

考え方		1 整備費については、他都市の看護系大学等の建設工事費等を参考としており、当該費用に物価上昇率等の推移等を考慮した。				
		2 定員については、50名から70名とした。				
設置 (例)	市立大学の新規設置	公立はこだて未来大学の学部増設				
	(例1)	(例2)	(例3)	(例4)	(例5)	
	市内の土地を入手し、建物を建設	未来大学の敷地内に建物を建設	市立函館病院高等看護学院校舎を利用し、かつ建物を建設		市立病院高等看護学院およびその他建物を利用	
概要	入手した土地に、他都市の看護系大学と同程度の校舎を建設	未来大学現校舎（約31,223㎡）の事務室や体育館等を利用し、最小限の建物を建設	看護学院（約4,192㎡（校舎3,292㎡、体育館900㎡））を利用し、不足分の建物を市病院局内敷地に建設		看護学院（面積：同左）およびその他建物（4,000㎡程度）を利用	
			①看護学院の改修（1階部分 1,100㎡） ②研究室等の新築 5,200㎡ ※（例2）と同等規模	①看護学院の改修（1階部分 1,100㎡） ②研究室等の新築 3,000㎡ ※必要最小限の校舎面積規模	①市看護学院の改修（全部分 4,192㎡） ②その他建物の改修（約4,000㎡想定） ※土地建物は、購入費用を含む。	
	校地面積 13,500㎡	校地面積（未来大校地面積） 155,000㎡	校地面積（学院＋市病院局用地） 6,400㎡	校地面積（学院＋市病院局用地） 6,400㎡	校地面積（学院＋その他建物） -	
校舎延床面積（新築） 8,500㎡	校舎延床面積（新築） 5,200㎡	校舎延床面積（新築・改修） 9,392㎡	校舎延床面積（新築・改修） 7,192㎡	校舎延床面積（改修） 8,192㎡		
概（参考） 算（整備） 費（値） R11 工事 実施	約 65 億円 ～ 約 70 億円 (税込)	約 35 億円 ～ 約 40 億円 (税込)	約 35 億円 ～ 約 40 億円 (税込)	約 20 億円 ～ 約 25 億円 (税込)	約 11 億円 ～ 約 13 億円 (税込)	
開設年度	R12年度	R12年度	R13年度	R13年度	R13年度	
想定される課題	・建物工事費等が莫大	・学生の実習病院への往来が不便	・看護学院の学生募集停止時期により、看護師供給に影響有	・看護学院の学生募集停止時期により、看護師供給に影響有	・看護学院の学生募集停止時期により、看護師供給に影響有 ・カリキュラム構築に課題 ・校地ごとへの事務員配置	

※整備費については、具体的な整備内容等が未定の中で試算した概算額であり、本概算額より増加することも想定される。